

北海道民放クラブだより

スキーを脱いで花見の宴!

(サクラを見て歩くかい)
 歩くスキーの会

建部 真司 (HBC)

雪が解けた後の「歩くスキーの会」は、「陸に上がった河童」のようなもので、スキーシーズンまでイマイチ元気がありません?そこで、三年前に内田会長ほか有志で行った初夏の歩く会が好評だったので、「サクラを見て歩くかい」というイベントを「歩くスキーの会」主催で行うことにしました。「お花見」の時期、5月7日に札幌市の月寒川緑地周辺コースおよそ6kmをみんなでウォーキングするものです。



歩くスキー花見会

冬の歩くスキーの会の時は、吹雪で中止になったこともあり、天候が心配されましたが、当日はまさに、風薫る五月です。

青空の下、キラキラと輝く月寒

川の流れの中にはアオサギもいてわれわれを歓迎してくれました。

コースは福住から羊が丘通りを越え、36号線まで行って、戻るおよそ二時間弱の行程です。

途中、ロシア正教のハリストス正教会や浄土真宗の福住寺(ふくじゅうじ)などで小休止、しばしば「さつぽろ歴史散策」を楽しみました。

例年、この時期が「お花見」の盛りのはずですが、今年はソメイヨシノやエゾヤマザクラなどの桜は早々と終わってしまいました。でも八重桜、レンギョウ、ユキヤナギをはじめたくさんのお花々が咲き誇っていて、豪華な「お花見ウォーク」となりました。

心地よい汗をかいた後は、福住のカフェ・キッチン「ビル・シャナ」の眺めの良いテラスで美味しいお弁当、ビールにイタリアワインで楽しい宴となりました。

楽しい「歩くスキーの会」
 如今、会員募集中です!

丘珠「さつき園」の

誕生会で紙芝居

長谷川一郎 (HTB)

社会活動部会は3月25日(水)、札幌市丘珠のケアハウス「さつき園」の誕生会に招かれ、紙芝居のボランティアを行いました。

北風が吹く大変寒い日でした。

メンバーは和田会長、小野垣、奥津、長谷川(泉)、長谷川(一)。この施設は自分のケアは自分で出来る方のホームです。

会の参加者は70名、3月に誕生



さつき園で紙芝居

日を迎えられた方への祝い状贈呈、食事会。

ちなみに3月に誕生日を迎えられた方は11名、最高年齢は93歳、ご自分で身の回りの始末はしっかりされているという。

その後、我々の出番となった。奥津さんがスタッフ、出し物を紹介、拍子木が入り「始まりー、始まりー」の声に一瞬会場はビックリされたように静かになったが、すぐに大きな拍手に変わった。

最初は長谷川泉さんが『さるじぞう』を、次に奥津雅人さんが『おにとおじいさん』最後に小野垣彩子さんが『若がえりの水』を、それぞれ個性豊かに読まれ、場内を魅了しました。

再会を期して盛大な拍手に送られながら会場を後にしました。

後片付けをしているとあるご婦人が、「嘘はつけねえ、欲は張れねえもんだね」、また次の方からは「お金を出してでも良いから『若返りの水』を買いたい、最低でも10歳若返えれたらもっと幸せなんだ」との言葉。

控え室で「さつき園」心づくしの誕生会の食事をいただき、無事散会しました。